

現有社員適性検査の診断結果

自己分析シートは、社員本人に
フィードバックする資料です

自己分析シート

Page 1

2021/03/15

全体

大阪 太郎

1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面	弱	強	指数
思索型	内閉性：孤独な面があり内省するタイプ	■		27
	客観性：思慮深く冷静に判断するタイプ		■	50
活動型	身体性：活動的で機敏に動き回るタイプ		■	74
	気分性：気分で行動に変化があるタイプ	■		29
努力型	持続性：何事も粘り強くやり通すタイプ		■	75
	規則性：規則等を重視し行動するタイプ		■	55
積極型	競争性：競争心が強く積極的に動く傾向		■	50
	自尊心：自らのプライドを尊重する傾向		■	50
自制型	慎重性：慎重に見通しをつけて動く傾向		■	57
	弱気さ：考えすぎて遠慮がちになる傾向	■		21

■この人の中心性格は「努力型・活動型」であるが、「自制・慎重性」や

自分自身の性格面を数値で知ることが出来ます

は、強い姿勢で対応することが出来ます。市況入りのあり、一般のルールをできるだけの守りとして、堅実というイメージはありますが、ときには突飛な発想をすることもあります。全体的には規則や秩序を大切に決定事項などは必ず守るといった社会通念を強く持っています。初対面ではなじみにくそうに思われがちですが、実際には誰とでも気軽に話さずうで、すぐに親しくなっていきます。新しい環境などでも比較的早くとけこむことができ、適応力もあります。精神面にも安定して、常に自分のリズムを一定に保つことができます。世話好きで親切的な側面もあり、集団のリーダー格として活躍できる可能性を持っています。

●もう一方の性格特性

精神面に安定している一方で、不安だとか劣等感といったものは縁がありません。対人関係においても、オドオドしたり、イライラしたりすることはなく、行動や発言にはしかるべき自分なりの理由があるようです。暗い陰のようなものではなく、明るく、積極的な人物です。

<この帳票の見方>

自己分析シートでは、性格、社会性、意欲の側面から診断しています。まず1ページ目では、あなたの中心性格を示し、次に日常的な生活場面での行動傾向を述べています。また、あなたの強み・弱みの把握ができるよう、具体的なアドバイスも記述されています。心理イメージに描かれている顔のイラストは、顔と人間の性格についてよく言われる言い回しをもとにあなたのモニター画像を作成しました。外見の顔ではなく、心の顔を絵で写し出そうとしたものです。2ページ目では、具体的な職場場面での対応力、自己評価と行動予測をグラフで示しています。対応力や行動予測は、1ページ目の診断結果より、あなたの行動傾向を予測したものです。あなたが思う本当の自分とのズレを感じる部分もあるかと思いますが、この診断結果によって、自分を見つめ直し、自己理解を深める機会ととらえて下さい。さらなる向上を目指すには、まず自分自身を知ることが大切です。自分を知り、さらなる向上を目指す手だてとして、ご活用下さい。

2 一般的な場面での社会性

社会性の側面	弱	強	指数
積極性・活発度		■	62
周囲との協調性		■	61
責任感・一貫性		■	82
自分への信頼度		■	68
指導・指示傾向		■	69
仲間との共感性		■	59
感情の安定度合		■	61
他者への従順性		■	55
自ら進んで実行		■	51
社会的自我確立		■	72

●「責任感・一貫性」について

自分自身の社会性を数値で知ることが出来ます

●「社会的自我確立」について

社会的自我確立とは、今の自分のおかれた環境や現実に対する自己の内的な満足度を表しています。本来思い描いている自分のあるべき姿と現状に差があるときなどにこの指数は下がります。この傾向が高い場合は

▼自分の生き方や方向性に自信を持っているために、状況の変化や周囲が見えなくなることもある

▼仮に間違った方向に進んでしまっても、気づかないことがある

といったことが考えられます。自分に自信をもって、「今」が望ましいと思うあまり、硬直した状態にならないよう、時には自分の生き方や方向性について、もう一度、時間をかけて考えてみることも必要です。

弱みについて、具体的なアドバイスが記載されます

ヤル気あふれている → 大きな瞳
新しいものにそれほど飛びつかない → まっすぐな目
自立したい → 鼻が高い
人との関係にこだわらない → まっすぐな口

となり、右のような顔ができあがります。



現有社員適性検査の診断結果

自己分析シートは、社員本人に
フィードバックする資料です

自己分析シート

Page 2

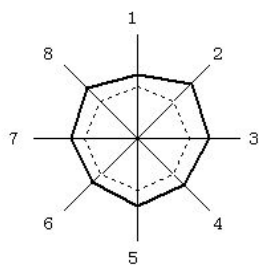
2021/03/15

全体

大阪 太郎

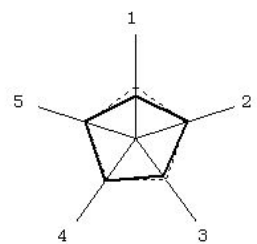
4 仕事場面での対応力

■何事にも積極的な姿勢で取り組む傾向



どんなときにも積極的に仕事に取り組もうとしている様子がうかがえます。仕事に対する興味、役割認識などもできているようで、自信を持っておこなっていることと思われます。時間配分や目的達成への計画などにも気を配り、さらに実力を発揮していくよう、今後のますますの健闘を期待します。

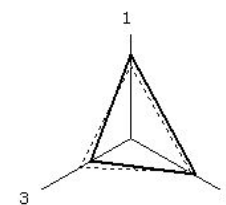
■人に頼らず自分の力で成し遂げる傾向



新しいことに興味はあるものの、積極的に押し進められないようです。自分らしい興味があっても、周囲の空気に逆らってまではしたくないのでしょう。個人抑えることも大切ですが、新しい環境においては自い必要があります。ときには脱日常を目指して

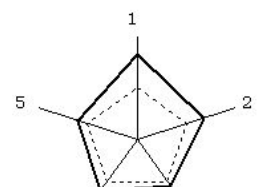
5 自己評価

■自己評価と行動予測の比較

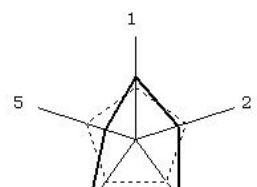


自己評価とCUBICの評価を比較し、
どれだけの差があるか、過剰評価や過
小評価の問題点も含めアドバイスしま
す

■ねばり強く最後までやろうとする傾向



■強い意志を持ち前を進もうとする傾向



自己分析シートは、診断結果を見た社員が自分の
可能性を伸ばしていくことを目的としている
ため、会社用に比べて表現がやわらかく、より
理解しやすい内容となっています

■管理・対人能力について
周りとの関係、特に部下を引っ張っていくことができ、自分でも自信を持って行動しているようです。リーダーとしての役割を發揮する上では、自分の力を信じていることが重要です。確かな判断力、いざというときに動揺しない精神力など、必要な要素は様々ですが、やはり自分自身を評価していかなくては、実際の行動が伴わなくなります。ただ、専門的な知識や技術力がなくては、説得力のあるリーダーがとまりませんから、日々の自己鍛錬は必要不可欠です。ますますの活躍が期待できます。

■思考能力の発揮について
自分自身を客観的に見ている一面があり、必要以上に過信することはないのですが、反面、自分の限界を勝手にここだと決めてしまい、それ以上の力を出せなくしています。単にわかっているだけではなく、日頃から関係する分野に関する情報収集に努めるといいでしょう。専門知識や技術力などは、一朝一夕で身につくものではありません。小さいことの積み重ねが自信につながります。適当なところであきらめてしまうことなく、ひとつの事を突き詰めて考えてみると、そこから新しい突破口が見いだせます。